

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2022 No. 64

inaokigakuen news letter



～新たな門出に向かって～
稲置学園各設置校で学位記授与式・
卒業証書授与式・卒園式を執り行いました。

巻頭

2022年度 新年度あいさつ

特集

学園創立90周年記念事業

星稜教職員バトンメッセージ

星稜 Information

星稜アレコレ

Amitié Seiryo ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中！

詳しくは裏表紙をご覧ください

2022年度 新年度あいさつ



学校法人稲置学園 理事長
稲置 慎也

新年度を迎え、本学園の大学、短期大学部、中学校・高等学校、2つの認定こども園では、新人生、入園児を迎え、各学舎には清新な空気が満ち溢れ、2022年度の学びがスタートいたします。

教職員の皆さんには、いままでと同様に、建学の精神の実現に向けて、ご尽力いただきますようお願いいたします。

さて、今年10月5日に本学園は創立90周年を迎えます。

創立80周年では「星稜100年VISION」を掲げましたが、90周年はその折り返し地点です。私達稲置学園の教職員は人を育てることに誇りを持ち、100周年に

相応しい新時代の「星稜の人間教育」を実現するための努力を続けていきたいと思います。

この90年に至る道のりは、本学園の建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」の下、多くの学生、生徒、園児達が真摯に学び、卒業後は様々な分野で活躍してこられたお陰であると感謝申し上げます。

私達は、本学園の礎を築いた稲置繁男初代理事長、教育の幅を広げた稲置美彌子二代目理事長の功績をさらに発展させることが出来るよう、「日日に新たな一歩」歩み続けることを強く思うものであります。

さて、2022年度の目標は、学園のトップ

マネジメントとガバナンスの確立に向けて、次の課題の解決に取り組むことです。2022年度は学園創立90周年の節目の年であり、学園の改革元年と位置付けます。

最初に、大学の学部・学科再編に着手し、学びの選択肢を幅広く設定します。特に経済学部を更に充実し、これからの時代の要請による新しい教育を創造します。

二つ目に、数値目標の明確化による財務の健全化に努めます。学園全体又は各設置学校の財務比率などの指標を下に、費用対効果を踏まえた計画的な事業に取り組みます。また、学園及び設置学校ごとに数値目標を掲げます。例えば、入試において、志願者数や入学人数について具体的な目標を示し、自覚と責任をもってその実現に尽力します。

三つ目に、昨年度から試行した人事制度を正式に導入し、適正な能力把握及び公正な評価を行い、人材育成プログラムを確立することで、事務職員の意欲と能力の向上を図ります。2022年度は、正に「人事制度元年」となるのです。

最後に、頑健な財政基盤の確立と大局を捉え将来を見据えた経営改革を実現するため、常務理事会を中心とした経営管理・企画体制を構築することで、強固なガバナンス体制の確立、実効性の高い内部管理体制の構築を目指し、従前のボトムアップ方式から、常務理事会を中心に協議決定するトップダウン方式に改めます。

以上の課題を解決するため、教職員皆さんのご理解とご協力を得ながら、一丸となつて取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願いたします。



金沢星稜大学 学長
金沢星稜大学女子短期大学部 学長
大久保 英哲

本年、稲置学園は創立90周年を迎えます。大学・短期大学部では、創立以来の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を普遍的理念として引き継いで参ります。

年度の始めにあたり、次の5つを学長所信として表明します。

☆学園創立100年とその先を見据えた学園の方針策定に積極的に参画し、その方針のもとに金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部の発展に努めます。

☆国際化や人々の価値観の多様化など、社会の変化に対応した、金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部の新たな姿とミッションを提唱します。

☆学長として、リーダーシップ（方針を定め、発信し、実行できる）を発揮し、常に教育・研究・社会貢献の充実に努めます。

☆学生ファーストの学修、教員による社会に直結した研究支援、事務職員による目標達成に向けた積極的な支援の3つのバランスを保ち、一体感のある金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部づくりに努めます。

☆金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部に学び、また働くことに喜びと誇りを持ち、健康で楽しく、人々から愛される「星稜人」の集う金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部となるよう努めます。



星稜高等学校 校長
星稜中学校 校長
鍋谷 正二

2022年度は、中高一貫教育をスタートして6年目を数え、中学校は学年が3クラスとなり、生徒数も300人を超える勢いです。中高一貫教育・第1期生の完成年度であり、その進路が注目されておりますが、第1期生達はその期待に応えてくれると信じております。

また本年度は、高等学校創立60周年の節目の年です。現在35,000人を超える卒業生が国内外で活躍しており、北陸私学の雄として本校が名をはせていられるのも、卒業生の努力の賜物であると、感謝の気持ちで一杯です。創立60周年記念事業では、多くの卒業生が集い、感謝を伝える機会にしたいと考えております。

中高在校生は、本校独自の多様な教育プログラムを全力かつ柔軟に受け入れ、日々成長していることが顕著にわかり頼もしく感じております。彼らが、諸先輩方に追いつき追い越すために、本校のスローガンである「GROW! SEIRYO」の如く、世界で活躍する個性豊かな星稜生に成長し、自らの生きる道を、自ら切り開いていけるよう、教職員一同、全力で教育に努めて参ります。



金沢星稜大学附属星稜幼稚園 園長
島田 裕香子

壬寅の今年、稲置学園は創立90周年を迎えます。壬寅は「新しく立ち上がること」「生まれたものが成長すること」を表す縁起の良い年です。

星稜幼稚園も幼保連携型認定こども園として6年目となり、初めて0歳児として受け入れた園児が卒園の年を迎えます。6年間変わらず大切にしている「非認知（自己認識、意欲、持続力、自制心、対応力、社会性等）」の力は、人が生涯に亘ってそれぞれの「well-being」を確立・維持していくための土台となります。読み書き計算等IQで測定できる力「認知」も、「非認知」がしっかりとしている方が伸びるということが分かっています。この大切な力「非認知」を育むために星稜幼稚園では、好奇心を満たす自発的な「遊び（学び）」の環境を整えており、今後も研鑽を続けて参ります。

職員一同、子ども達の豊かな未来を想い、心をこめた保育を行い、教育の質の向上を目指します。



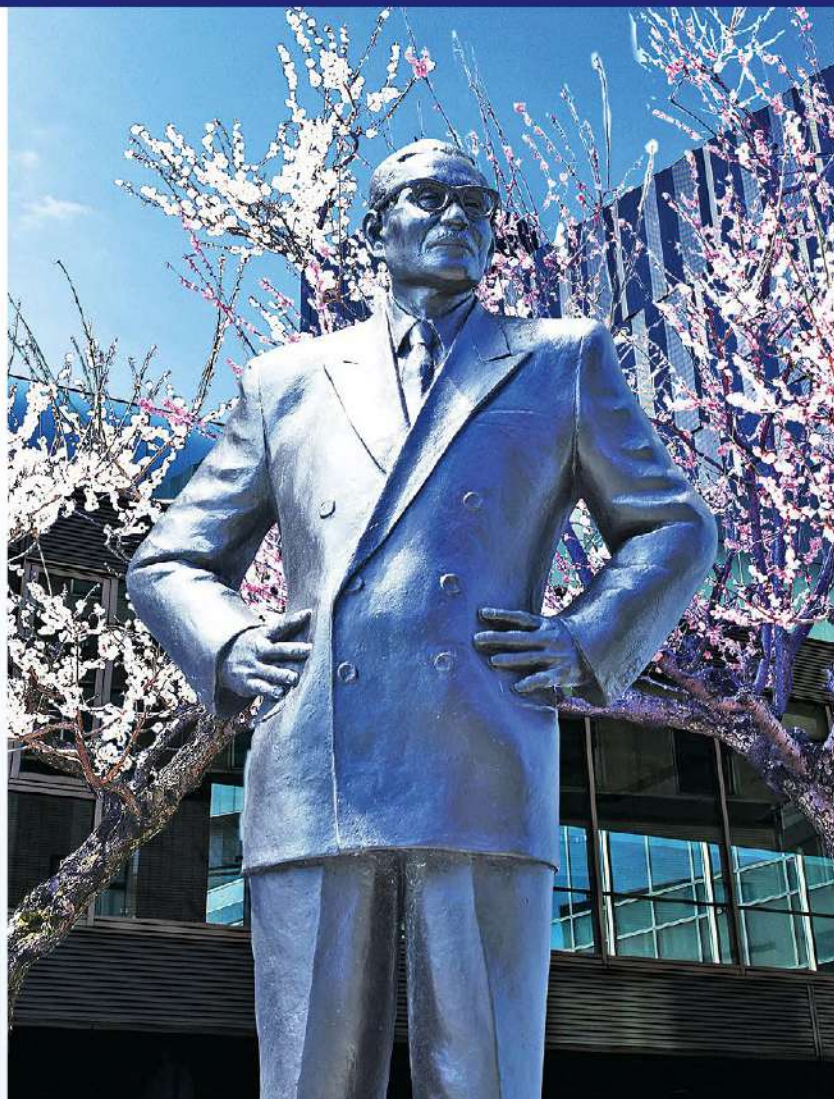
金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園 園長
西村 敬子

星稜泉野幼稚園が認定こども園になって6年目になります。「主体的に遊び、遊びが保護される環境づくりに取り組む」を保育目標として、室内や室外において子ども達が遊びに没頭し、継続して遊べる環境を整えてきました。今では、子ども達一人ひとりがそれぞれの個性を発揮し、楽しく遊ぶ姿がたくさん見られるようになりました。しかし、2年前から新型コロナウイルス感染症の流行によって、今までの保育環境や保育内容を見直す機会となりました。

社会においてはITやAIが私達の暮らしを動かす時代になっています。そこで、当園でも子ども達が遊びの中でタブレットを使用し、園庭にいる昆虫や生き物や草花の写真の撮ったり調べたりと、ICTを学ぶのツールとして活用していきます。

また、4月より自園給食を実施することになり、今まで以上に食育の充実を図ります。

今年、稲置学園は創立90周年を迎えます。星稜泉野幼稚園も、コロナ禍の厳しさを乗り越えて、さらなる発展を目指して参ります。



学校法人 稲置学園 初代理事長 稲置 繁男

暖かな春と共に新年度を迎え、本学園の大学、短期大学部、中学校、高等学校、2つの認定こども園では、新入生、入園児を迎え、各学舎には清らかな空気が満ち溢れ、2022年度の学びがスタートいたします。

さて、今年10月5日に本学園は創立90周年を迎えます。

この90年に至る道のりは、「誠実にして社会に役立つ人間の育成」という本学園の建学の精神のもと、多くの学生、生徒、園児達が真摯に学び、卒業後も建学の精神を忘れることなく、様々な分野で活躍してこられたお陰であると感謝申し上げます。

創立90周年を祝い、各設置校では卒業生と在学生が交流できる企画を行います。是非御参加いただき、今の「星稜」を感じていただきたいと思えます。

80周年では「星稜100年VISION」を掲げましたが、90周年はその折り返し地点であり、100周年に向けた見直しの時でもあります。

私達稲置学園の教職員は人を育てることに誇りを持ち、100周年に相応しい新時代の「星稜の人間教育」を実現するための努力を続けることをお約束いたします。

学校法人稲置学園 理事長 稲置 慎也

学園創立90周年記念事業

★ 記念式典

【日 時】2022年10月5日(水) 10:00～ 【場所】稲置講堂

★ 記念映像「星稜の人間教育を地域へ、世界へ、そして100年へ(仮)」

【日 時】2022年10月5日(水) 記念式典内で上映

★ 記念講演

【日 時】2022年10月5日(水) 式典終了後 【場所】稲置講堂 【講師】未定

《設置校企画》

★ 金沢星稜大学

【テーマ】大学生のアクティビティ・アーカイブ制作

【実施日】夏季休暇から順次配信(予定)

【内 容】学生達の様々なゼミ活動、クラブやサークル活動の様子、授業外の時間の過ごし方、講義室での座学に限らない、実技、実習、フィールドワーク、地域と連携したプロジェクト実践など、本学で行われる多様で能動的な学びの様子をお届けします。また、この映像アーカイブの制作過程を学生自身が体験し、教員や職員も加えた協同と共創のプロセスをメタ映像として記録します。

★ 金沢星稜大学女子短期大学部

【テーマ】Sei-Tanは新型コロナにどう立ち向かったか

【実施日】10月刊行予定

【内 容】2020・2021年度に短大部に在籍した学生を対象に「Sei-Tanは新型コロナにどう立ち向かったか」という感想文を募集したところ、340名の学生から提出がありました。学業・課外活動・アルバイト・家族・就職・友人関係など、様々な観点から学生の皆さんの率直な言葉が綴られています。新型コロナウイルスの影響から、思い描いた短大生活とギャップがあったかもしれませんが、短大生は粘り強く笑顔で学生生活を送りました。一人ひとりがどのように新型コロナに立ち向かったのかまとめた冊子を作成し、発信したいと思います。

★ 星稜高等学校・星稜中学校

【テーマ】『星稜夏フェス』(仮)～新たな星稜の伝統を生み出す文化部活動発表～

【実施日】2022年9月10日(土)

【場 所】稲置講堂・大学キャリアデザイン館1階エントランス 他

【内 容】文化部を中心として活動発表を行います。

稲置講堂ステージでの発表に本年度全国大会に出場した演劇部、箏曲部をはじめ、吹奏楽部、合唱部、チアリーダー部が出演します。また、華道部、美術部が稲置記念館5階ロビーに作品を展示し彩を添えます。茶道部によるお茶会も開催し、学園関係者、保護者、地域の皆様をおもてなしする予定です。

★ 金沢星稜大学附属星稜幼稚園

【テーマ】星稜キッズフェスティバル&音楽祭

【実施日】2022年10月1日(土)

【場 所】星稜幼稚園内・稲置講堂 他

【内 容】パン職人、花屋さん、動物園飼育員etcをお招きして、パン作りやアレンジメント、エサやりなど、なりきって大人の仕事を親子で体験します。本物の体験は楽しく、記憶に残る90歳のお誕生日となるはず。キッズフェスティバルの後は、音楽祭。90年の歩みを聞いた後は、課外ミュージックファクトリー の園児を中心に保護者、大学の教員の演奏や声楽でお祝いします。

★ 金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

【テーマ】夢のステージ

【実施日】2022年10月1日(土)

【場 所】稲置講堂

【内 容】①「和太鼓ダイアプラス&星稜どんどこ太鼓(年長児)による共演」

星稜泉野幼稚園は、石川県の伝統文化(和太鼓、茶道、九谷焼絵付け、紙漉き等)に触れる体験を取り入れています。今回は和太鼓ダイアプラスの方と一緒に演奏します。

②「星稜高校チアリーダー部&泉野チアリーディング(年長児)による共演」

課外活動で泉野チアリーディングを取り入れています。今回は星稜高校チアリーダー部のお姉さん達と一緒に演技します。

③「表現あそび」

年少児は金沢星稜大学の連先生の指導でリミックスをしています。今回は子ども達がリズムに合わせて表現します。

※90周年事業の各設置校の企画は、2022年3月現在の内容であり、変更となる場合があります。



金沢星稜大学附属星稜幼稚園
飯山 朝香 先生

保育の仕事の 素晴らしさを再確認

私は今、「星稜幼稚園」で勤務しており、隣接する「星稜こども園」の勤務年数と合わせて、7年目を迎えるようとしていきます。保育教諭を志したのは、母がその仕事に就いており、毎日楽しそうに仕事のことを話すので、自然とその道を志していました。

短大部で幼児教育を専門に学んだ後、別のこども園に2年勤めたのですが、ほかの職業も経験してみたいと思い退職しました。退職中に思い出すのは、子ども達と過ごした日々や行事のことです。離れたことで改めて保育の仕事が好きだと痛感しました。再び保育の仕事に就こうと探していた矢先に、「星稜こども園」とのご縁をいただきました。

保育の仕事には、達成感があります。子ども達は本当に可愛いですし、目を見張るような成長ぶりを日々感じさせてくれます。また私達、保育教諭の専門性や努力を、保護者の方々がしっかり見ていてくださり、「ありがとう」の言葉に幸せになります。

星稜幼稚園・星稜こども園は同僚・先輩がとても親しみやすく、仕事はもちろんプライベートのことも相談でき、大変働きやすい環

子ども達に「園が大好き」と 思ってもらえる保育を。

境です。また先生方一人ひとりの園児との関わりが勉強になることばかりです。特に感銘を受けたのは、教育方針の子ども達の主体性を大切にしていることです。一律の教育ではなく、一人ひとりに寄り添い、遊び一つをとっても無理強いせず、その子の主体性を大切にしていることにとっても感動しました。私も一人ひとりに寄り添うことを心掛けています。

表情豊かに接しています

この2年はコロナ禍で、星稜幼稚園・星稜こども園のような乳幼児教育施設はその対応に神経を使っています。そんな中でも園児達が不安にならないように温かく受け入れる等工夫しており、特に日常生活で必需品となったマスクでは、顔の半分が隠れてしまうので、目元を見ただけでも笑っているのが分かってもらえるような満面の笑みを



お誕生日は手作りカードを渡してお祝いします。

心掛けています。最近ではマスクの下だったとしても大きな口を開けて笑うようにしており、そうすることで園児達にも楽しい気持ち伝わっていると感じます。

コロナ禍で保護者参加の行事がほぼ中止の中、表現会は是非みていただきたいと開催をし、私も緊張感でいっぱいでしたが、園児が元気に発表できたことに嬉しくて、保護者と一緒に喜び合いました。行事を通して保護者との距離が近くなり、達成感でいっぱいになりました。

そして忘れられないのは、園児が「幼稚園が楽しい、毎日でも来たい」と言ってくれたことです。ここでの毎日を楽しく感じてもらえるよう準備していたので、その一言は、本当にうれしく保育教諭冥利につきます。これからも、子ども達皆「園が大好き」と言ってくれるような保育を続けていきます。



子ども達は絵本や紙芝居が大好きで一日に何度も読み聞かせます。

2022年度のエクステンション資格講座ガイドが完成しました!

資格取得やスキルアップを目指す方向けに開講しているエクステンション講座は、毎年学生を中心に卒業生や保護者の方にもご利用いただいています。また、WEB資格講座をはじめとするオンデマンド講座やオンライン講座、ライブ講座との組み合わせによるハイブリッド講座など「新しい学習環境」の提供を順次開始いたします。

詳細はホームページでご確認ください。

〈エクステンション講座ホームページ〉<https://ssl.smart-academy.net/seiryo/>



【WEB資格講座で25種類の資格にチャレンジ】

2019年度から開始したWEB資格講座は、25種類の資格講座を「定額で」「1年間」「いつでもどこでも」視聴することができることから好評をいただき、3年目もたくさんの申込みをいただきました。より多くの方に学習しやすい環境を提供するために、毎月募集を行っています。

受講対象者: 学生 (本学園の大学・大学院・短大部・高校等の在学学生)、学園 (本学園の卒業生・教職員・保護者等)

受講期間: 受講開始より1年間 ※全25講座を1年間学び放題

受講料: 11,000円 (テキストは別途購入)

申込締切: 毎月20日締切 (20日が土日祝日の場合は、前日を締切日)

申込方法: 締切日までに受講申込書の提出と受講料の支払いをしてください。(学生以外の方の受講料は郵便局で払い込みとなります。)

WEB資格講座の詳細は、ホームページでご確認ください。

〈WEB資格講座ホームページ〉<http://shikaku-web.net/web/>



2022年3月31日(木)をもって篠崎尚夫先生の学長任期が満了し、退職されました。
篠崎先生は、2001年に金沢経済大学経済学部助教授として着任。金沢星稜大学への校名変更後の2005年に助教授、2009年に教授となり、金沢星稜大学女子短期大学部副学長、金沢星稜大学女子短期大学部学長を歴任し、2018年からの4年間大学の学長を務められました。大学の第10代目の学長であり、過去に前例のなかった新型コロナウイルスへの対応など、大学の運営に多大な功績を残されました。
3月2日(水)、先生ご自身の専門分野である経済思想史から「私の『経済思想』」と題し、最終講義が行われました。ZOOMでのオンライン開催にもかかわらず、篠崎先生の熱い想いを聴きたいと100名以上の学生・教職員が聴講しました。

★ 篠崎尚夫先生で退任



高島菜那さん



川野優里亜さん

★ NHKキャスターに内定

2022年3月に本学を卒業した、川野優里亜さんと高島菜那さん。4月からNHK金沢放送局に就職が決まり、アナウンスチームの一員としてキャスターになります。二人とも星稜高校出身であり、高校時代から川野さんは野球場内アナウンスを、高島さんはファッションモデル等を務め、学生になってからは互いに学生リポーターとして活躍。これらの経験から「声で伝える」というお仕事に興味を持ち、将来の夢が切り開かれ、そして叶いました。二人は今後ラジオやテレビなどに少しずつ出演し始めていきます。

短大 ジブンを超える、 力をつける

就職活動本番に備え、主に大学3年次・短大部1年次に向けて、コロナ感染状況を見極めながら、対面及びオンラインにて工夫を凝らして様々な就職支援を実施してきました。本学独自の就職支援プログラムの一部をご紹介します。



◎MOONSHOT講座

学外からプロの講師を招き、好印象を与える身だしなみや立ち居振る舞い、面接における受け答えのノウハウなど、基礎から応用まで徹底的に習得するプログラムで構成しています。

今年度からは男子学生も加わり、大学・短大部合わせて総勢76名の学生が参加しました。難関企業からの内定獲得や自身が目標とする進路の実現に向け、真剣ながらも、大学・短大部の垣根を越えて参加者同士が打ち解けた様子で学び合いました。

MOONSHOTとは？

ジョン・D・ケネディの「簡単だからやるのではない。難しいことだから敢えてやるのだ」と説明したアポロ計画からとっています。

◎MOONSHOT abroad!!

今年度はフリーピンの現地英語教師とオンラインでつながり、マンツーマンの英会話授業を5日間で30コマ受講するという濃密なプログラムを開催しました。期間中にはSDGsの目標の一つ「海の豊かさを守ろう」について考えを深めて英語でプレゼンしたり、学部・学科を越えてチームになった新しい仲間と情報交換したりしながら、英語スキルの向上に努めました。



◎大学・短大部面接対策自己分析(通称メンタイコ)講座

「自分らしさを、自分らしく伝える」

面接で聞かれやすい様々な質問に、自分だったらどう答えるかを考えながら自己分析を進め、最後には本番さながらの面接を体験するという非常に実践的なプログラムです。

就活を終えた先輩も参加し、後輩のためにアドバイザー役としてサポートします。また、ユニークな由来の就活メニューも好評です。



★ 高校3年生 初めての一人暮らし講座を開催しました。

12月2日(木)、高校3年生の希望者を対象に、石川県宅地建物取引業協会の方を講師としてお招きし「初めての一人暮らし講座」を開催しました。講座では、一人暮らしを始めるにあたって賃貸物件の選び方や契約時の注意点など、体験談や事例を交えて分かりやすくお話していただきました。2022年4月から成人となる生徒達にとって、大変有意義な講座となりました。



★ 高校2年生中高一貫理数コース 第36回石川地区中学高校生徒 化学研究発表会で奨励賞を受賞

12月19日(日)、金沢大学自然科学本館で行われた中学高校生徒化学研究発表会に代表生徒6名が参加しました。研究テーマは「塩害の発生条件とその対応策」。「素材と色による温まり方の違い」です。2年間の研究結果を分かりやすくまとめ、発表しました。金沢大学の先生から、これからの研究に役立つアドバイスもいただきました。中高一貫理数コース1期生は何もかも手探りで頑張ってきました。反省も踏まえ、後輩にバトンをつなげていきたいです。



★ 高校1・2年生 体育大会

12月20日(月)・21日(火)、高校1・2年生による体育大会を行いました。1年生がフットサル・バレーボール・ダンス、2年生はバスケットボールなどの競技でクラス対抗戦を行いました。寒い中での大会となりましたが、生徒達は全力で競技を楽しんでいました。クラス一丸となって取り組むことの出来る数少ない行事となりました。思い出深いものになりました。



★ 高校2年生Aコース エンパワーメントプログラム を実施しました。

12月22日(水)・25日(土)、ISAの講師をお招きし、エンパワーメントプログラムを行いました。グループワークなどのプログラムを実施し、自分の意見を英語で自信を持って話すことができるようになりました。最終日の25日(土)には集大成として、生徒一人ひとりによる英語のプレゼンテーションも行いました。4日間、英語漬けになることで、英語力に磨きをかけることができました。



★ 同窓会入会式

2月28日(月)、同窓会入会式を挙行了しました。気谷優衣さんが同窓会入会記念品を代表して受け取り、卒業記念品目録贈呈は片口有己さんが務めました。同窓会会長賞は辻井采々良さん、高木こころさん、藤井悠一さん、中瀧凛成さん、福田有紗さんがそれぞれ受賞し、同窓会学年幹事には藤井悠一さん、高幸紀心さんが任命されました。



★ 高校3年生 卒業証書授与式

3月1日(火)、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置による制約の中ではありましたが、保護者の皆様と同じ空間で、厳粛且つ心温まる卒業式を挙行できました。答辞を務めた中田達也さんは、甲子園出場辞退や感染対策に追われる日々を振り返りつつ「挫折をした後には必ず得るものがある」と感じた経験と、「報われなかった努力にも進んできたその道のりは残っている」と語った羽生結弦選手の言葉を重ねながら、新天地への歩みを力強く語りました。



★ ウィンター フェスティバルを 開催しました。

12月3日(金)、様々な競技やダンス発表を行うウィンターフェスティバルを開催しました。各学年クラス縦割りにして団を組んだ午前中は、バスケットボールなどの競技を行い、B組団が見事優勝しました。午後からは各学年のダンス発表を行い、1年生「Choo Choo TRAIN」2年生「南中ソーラン」3年生「創作ダンス」と、どの学年も短い練習期間の中で大成功のダンス発表を行うことが出来ました。



★ オンラインにて 合唱コンクール を行いました。

12月18日(土)、第21回合唱コンクールを行いました。11日(土)に収録した各クラスの合唱の映像を MetaMobi Classroom を使って配信し、生徒達は自宅で鑑賞しました。新型コロナウイルス感染症対策のため様々な制限の中での実施となりましたが、どのクラスも一生懸命、思いのこもった素晴らしい歌声を響かせていました。金賞は、クラス一丸となって美しいハーモニーを披露した3年B組が受賞しました。



★ 2年生 NTTドコモ北陸支社 企業訪問

12月20日(月)、キャリア教育の一環として、NTTドコモ北陸支社であるドコモ金沢西部ビルへ企業訪問に行きました。ネットワーク通信の仕組みや災害時でも安定した通信を行うための取り組みについて学び、スマートグラスを使って5Gの世界を体験させていただきました。NTTドコモ北陸支社の皆様の丁寧なご説明のおかげで、生徒達は最先端の通信技術について楽しみながら学ぶことができました。



★ 1年生 レゴ研修

12月20日(月)、本校にて、レゴ研修(レゴ®シリアスプレイ®メソッド)を行いました。SDGsをテーマに掲げ、「誰一人取り残さない世界の実現」のために自分にできることを、レゴブロックの組み立てを通して思い思いに表現していました。テーマについてレゴブロックで表現という制限がある中、生徒達は色々考えながら表現し、グループの中で自分の考えを共有していました。



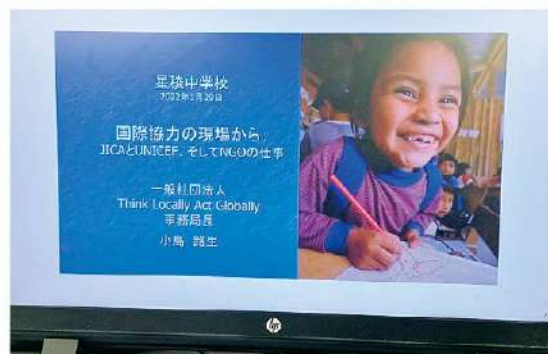
★ 3年生 学外研修

12月20日(月)、学外研修で飛騨高山へ行きました。午前は、飛騨の暮らしを再現した集落博物館を訪れ、実際に飛騨の伝統工芸を体験しました。生徒は各々組紐や、さるぼぼ作りをし、石川県では体験できない伝統工芸に触れることが出来ました。午後は実際に飛騨高山の街並みを訪れて、江戸時代の街並みの美しさを感じました。3年生になって初めての県外研修を、生徒一人ひとりが大いに満喫することができました。



★ オンライン講演会を行いました。

1月28日(金)、国際協力家の小島路生氏をお招きして、「国際協力の現場から」という演題で、小島氏の実体験に基づく貴重なお話をいただきました。国際協力とは学び合いと助け合い、そして支え合いであり、国境というラインを越えて、皆が幸せになれるように必要だという、活動内容だけでなく生きる上で大切なことも多く学ぶことができました。



★ 第20回 総合学習発表会を行いました。

2月26日(土)、第20回総合学習発表会を行いました。これまで生徒達は、総合的な学習の時間を利用して、各クラス、班ごとにテーマを決めて準備してきました。当日は、2年生と3年生生理数コースの代表グループのみの発表となりましたが、どのグループも練習の成果を発揮した、熱意の伝わるすばらしい発表となりました。



★ スキー部 金沢市中学校スキー大会 男子総合優勝！

2月24日(木)、白峰アルペン競技場で第67回金沢市中学校スキー大会アルペン競技が開催されました。1年生の近藤陽太さんが男子ジャイアントスラロームで優勝し、学校対抗の部でも男子総合優勝と健闘しました。



★ 第47回 卒業証書授与式を行いました。

3月16日(水)、第47回卒業証書授与式を行い、87名の卒業生が旅立ちの日を迎えました。式では、在校生代表として太村優真さんが送辞を、卒業生代表として高桑幹尚さんが答辞を述べました。式の後には、本校教員が作成した卒業ムービーが流れ、3年間の思い出に浸りました。感染症対策のため、短縮での実施となりましたが、心温まる素晴らしい卒業式となりました。



★ 高 12月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

2021川崎トランポリンジャパンオープン

- ・17・18歳男子の部 ・優勝 美田 靖文
- ・17・18歳女子の部 ・第3位 木村 心春
- ・15・16歳男子の部 ・優勝 中山 偉斗
- ・15・16歳女子の部 ・第2位 吉村 紅子

第37回北信越高等学校囲碁選手権大会

- ・女子団体戦 ・第3位 平坂 あん、金剛 結、石野 ほたる

令和3年度第33回石川県高等学校弓道冬季錬成大会

- ・団体女子の部 ・第2位 若林、橋本、水橋、西野、今高

第56回石川県アンサンブルコンテスト

- ・フルート5重奏 ・銀賞
- ・金管8重奏 ・銅賞

第74回中部日本高等学校演劇大会

・中部日本高等学校演劇連盟賞

令和3年度石川県高等学校総合体育大会

スキー競技

- ・男子アルペン総合 ・第2位
- ・男子総合 ・第2位
- ・女子アルペン総合 ・第2位
- ・女子総合 ・第2位

第30回松本旗争奪石川県高等学校剣道選抜大会

- ・男子団体 ・第3位
- ・女子団体 ・第2位

令和3年度石川県高等学校総合体育大会

- ・総合最優秀校
- ・男子優秀校
- ・女子最優秀校

第34回石川県高等学校ヴォーカルアンサンブルコンテスト

- ・B部門 ・金賞・クレッシェンド賞
- ・A部門 ・銀賞

令和3年度石川県高等学校新人体育大会

スキー競技

- ・男子アルペン総合 ・第2位
- ・男子総合 ・第2位
- ・女子アルペン総合 ・第3位
- ・女子総合 ・第3位





栄養士と調理師、6名で、毎日おいしく栄養たっぷりの給食を提供しています。
 こたわりは、国産のみの食材を使い、主食はカルゲン米とカルゲン玄米です。天然カルシウムを使用し生産されたお米で、「カルゲン」の使用により、一般米よりカルシウム含量が豊富でミネラルがたっぷり含まれています。
 給食を食べる子ども達も笑顔いっぱい、元気モリモリです。

☆食育活動いろいろ☆



園では様々な行事食を食べる機会があります。
 東京オリンピックが開催されていた時は、オニオンリングの金メダル、オリンピック競技のサッカーや野球のボールのカレー、水泳から水をイメージしたデザートなどがありました。



節分では、豆まきの後、鬼の顔のお寿司が登場し、昔から伝わる行事に触れました。季節の食材を味わいながら、ままごと遊びの中では鬼の顔が再現され、友達とのコミュニケーションを深めています。



また、絵本を通してケーキ屋さん、和菓子屋さん、クレープ屋さんに興味を持ち、それぞれのクラスで、かわいいお店がオープン。



いろいろな材料で作られたお菓子がずらりとお店に並びました。遊びのイメージから本物にと、ホットケーキ、お



はぎ、クレープを手作りして美味しくいただきました。大満足のクッキングの後には、ますます遊びが広がっています。



年長児は卒園する前に好きなメニューを給食室にリクエストします。人気メニューは、唐揚げと具だくさんラーメンでした。友達と一緒に食べた星稜幼稚園の給食を、大きくなっても思い出してほしいと思います。
 これからも毎日子ども達が元気いっぱい過ごすことができるように、しっかりと栄養バランスを考えた給食を提供し、食の大切さを伝えていきたいと思っています。

園 幼 野 緑 柳 茶 道
☆抹茶碗作り&茶道☆

茶道で使う抹茶碗に絵付けをしました。園児の保護者で陶芸家の大塚さんにご指導いただきながら、石川県観光PRマスコットキャラクターのひやくまんさんに色を塗りました。事前に下書きをした絵を基に、九谷五彩を筆で塗り分け、枠からはみ出さないように一生懸命に取り組んでいました。自分達で絵付けをした抹茶碗で、お茶会の日に保護者をおもてなしする予定でしたが、コロナ感染状況を鑑み、残念ながら今年度はお茶会を中止としました。

その代わりに、最後の茶道の日に、自分達でお抹茶を点て、友達をおもてなしました。お菓子をいただいていたから「お点前ちようだいいたします」とお茶碗を回して、お茶をいただきました。1年間の集大成です。最後に茶道裏千家家元「千宗室」からのおしるしをいただきました。1年間を通じて、静かな空間で心を落ち着かせる経験ができました。



☆遊びの中で育つ力☆

年長児が郵便配達をたくさん、帽子とカバンを作りました。でも、配達するものがなく、自分達で手紙を書き始めました。「どうしたら手紙が来るかな?」「郵便ポストを作ったらいんじゃない?」と話し合い、ポスト作りが始まりました。その様子を見ていた他の子ども達から、「私も手紙書きたい」「郵便屋さんやってみすって知らせたい」という声があがり、本格的に郵便屋さんがスタートしました。

このように、子ども達は生活や遊びの中で、感性を働かせ、試行錯誤を繰り返しながら多くのことを学んでいきます。自分のやりたいことを見つけ、友達との関わりを深める中で、自分の思いや考えを表現し、伝えたり考えを出し合ったり、協力したりして自らの考えを広げ、深めていきます。

園では、主体的で対話的な深い学びが積み重ねられるよう、日々保育しています。



☆年長さん、ありがとう☆

卒園する年長児に今までの感謝の気持ちを込めて飾りを作りました。いちご組、めろん組はちようちよを、年少児、年中児はマンダラ塗り絵やトイレットペーパー芯を使った花を作りました。階段に飾りつけ、子ども達の歩く道がカラフルで華やかになりました。

年少、年中の担任からは思い出の写真がたくさん詰まったスケッチブックが贈られ、子ども達と一緒に1年間の思い出を楽しく振り返りました。

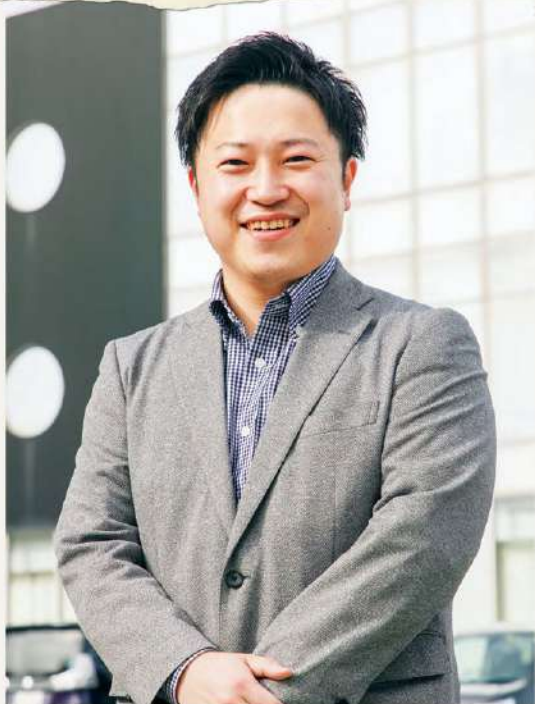


☆雪遊び☆

今年は園庭にたくさん雪が積もり、子ども達は大喜び。そり遊びをしたり、雪だるまを作ったりと思いに楽しみました。



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



七尾営業部 チーフ アカウントマネージャー

瀧本 成樹

(星稜高等学校 第46期卒)

星稜での学びを胸に お客様とともに考え、解決へ

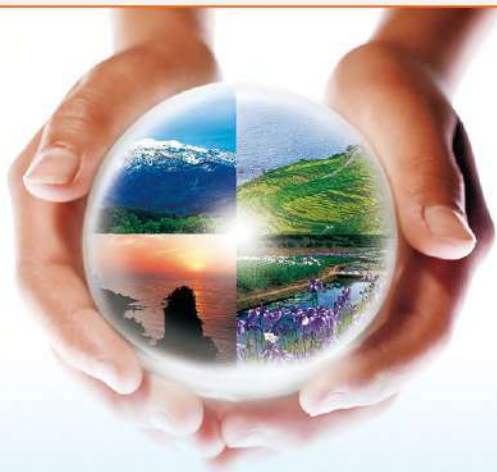
私は平成22年に星稜高校を卒業し、富山の大学を経て平成26年に北國銀行に入行、現在9年目になります。金沢市内の配属に始まり、富山地区の営業を経て、現在は七尾営業部にて法人営業を行っております。七尾市は日本海を望む海の玄関口で、能登の政治・経済・文化の中心地です。また、和倉温泉等観光資源が豊かな町です。良い上司・同僚に恵まれ、楽しく仕事に取り組んでいます。

皆様は「銀行」と聞くと、どのような仕事を思い浮かべますか？パツと思ひ浮かぶのは「預金」「融資」「為替」等ではないでしょうか？もちろん主要業務であることは間違

ありません。しかし、お客様の抱えるお悩みは多種多様です。お客様を第一に考え、対話を重ねて事業内容を良く知り、お客様の抱えるお悩みを共に考え解決する、いわゆる「コンサルティング業務」が私達が重視している業務です。お客様が求めることは何なのか、どのようなご提案をすれば喜んでいただけるのか、試行錯誤の日々ですが、お客様に満足していただけたときはとてもやりがいを感じています。

私は高校時代Bコースでバドミントン部に所属しておりました。毎日のきつかった練習は今でも忘れていませんし、精神面の鍛錬につながったと感じています。星稜高校の良いところは何と言っても文武両道、そしてその両方に打ち込める環境が整っていることだと思います。また、一人ひとりの個性に合わせた多様なコースがあり、自分の進路を自分で切り開いていけるところも良い点です。在学中の皆様におかれましては、この環境を思う存分に活用し、失敗してもいいので様々なことに全力でチャレンジして欲しいです。その経験が自分の糧になり、自分の将来の選択肢を増やすことにつながると思っています。

コロナ禍という厳しい状況が続いておりますが、お体には十分気を付けて、是非悔いのないよう学校生活を送ってください。皆様の今後のご活躍を心より願っております。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。

地域のみなさと、未来をひらいていく。

ふるさとに暮らす人々が、

今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。

北國銀行は、これまでこれからも

地域とともに歩む銀行であり続けます。

総合研究所・ 地域連携センター だより



総合研究所

「研究成果報告会」 を開催しました！

3月3日(木)、2021年度金沢星稜大学総合研究所主催の「研究成果報告会」をオンラインにて開催しました。本報告会では、今年度採択された97件の個人研究、5件の共同研究、3件のプロジェクト研究のうち、共同研究とプロジェクト研究が成果報告を行いました。

今年度も昨年度と同様、コロナ禍のために計画していたフィールド調査が思うように進まなかった研究もありましたが、報告会には県外の研究者の方々にもご参加いただき、異なる分野の研究者との意見交換が行われ、金沢星稜大学の研究活動のさらなる充実が期待される内容となりました。



地域連携センター

「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト(ちいプロ) 2021成果報告会」を開催しました！

学生が自分達で企画・実践した様々なプロジェクトを通して、経験したこと・学んだことを発表する場として「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト(ちいプロ) 2021成果報告会」を開催しました。今年度もコロナ禍で活動が制限される中、5団体延べ90名の学生が様々な工夫を凝らして実施した活動内容や成果、学び等をオンラインを利用して発表しました。会場からの質疑応答や他団体の発表から刺激を受け、今後の活動への新たな一歩に繋がる報告会となりました。



「第4回(2021年度)地域連携活動報告会」を開催しました！

2月18日(金)、地域社会との持続的な連携(貢献)活動を推進するため、地域連携センター主催の「地域連携活動報告会」をオンラインにて開催しました。

第一部は、「SDGs」による地域との協創」と題して、元国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわかなぎわおベレーティング・ユニット事務局長の永井三岐子氏から自らの経験を踏まえた貴重な話をいただきました。

第二部は本学各学部における活動成果発表とし、教職員、学生から各ゼミ等の活動の紹介や成果について発表がありました。

この報告会は、本学の地域連携(貢献)活動を学内はもとより、地域社会へも積極的に情報発信することにより、学内教職員、学生の一層の意識向上を図る契機となりました。



行事スケジュール (4月～6月)

※変更する場合があります。

金沢星稜大学

4	2日(土)	入学式
	6日(水)・7日(木)	新入生宿泊研修(山中・山代・和倉・千里浜)
	11日(月)	前期授業開始
	16日(土)・17日(日)	新入生歓迎祭
	29日(金)～5月5日(木・祝)	GW休講期間
5	14日(土)・28日(土)	補講日
6	4日(土)	百万石踊り流し
	11日(土)・25日(土)	補講日
	13日(月)・14日(火)	クォーター調整日

金沢星稜大学女子短期大学部

4	3日(日)	入学式
	11日(月)	前期授業開始
	24日(日)	新入生歓迎祭
	29日(金)～5月5日(木・祝)	GW休講期間
5	14日(土)・28日(土)	補講日
6	4日(土)	百万石踊り流し
	11日(土)・25日(土)	補講日
	13日(月)・14日(火)	クォーター調整日

星稜高等学校

4	4日(月)	1年入学前オリエンテーション・自転車安全教室
	7日(木)	入学式
	8日(金)	始業式・1年研修会 2年・3年 自転車安全教室・GSP説明会
	16日(土)	身体計測
	19日(火)	内科検診
	25日(月)	春の遠足
5	16日(月)～19日(木)	中間試験
	19日(木)	高校総体・総文激励会
	20日(金)	後援会総会、3年学級懇談会、1年A懇談会
	22日(日)	高校創立60周年記念同窓会
	27日(金)	避難訓練
6	7日(火)～9日(木)	歯科検診
	11日(土)	高1保護者対象説明会
	30日(木)～7月5日(火)	期末試験

星稜中学校

4	7日(木)	始業式、入学式、入学オリエンテーション
	8日(金)	1年研修会、交通安全教室・自転車説明会
	11日(月)	1年研修会
	12日(火)	タブレット安全教室
	16日(土)	身体計測、2年コース説明会、3年進路説明会
	19日(火)～21日(木)	内科検診
	25日(月)	春の遠足
5	17日(火)・18日(水)	中間試験
	20日(金)	後援会総会
	27日(金)	避難訓練
6	2日(木)・3日(金)	スポーツテスト
	4日(土)	土曜スクール、学校説明会
	7日(火)～9日(木)	歯科検診

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

4	5日(火)	入園式
	6日(水)	始業式
	26日(火)	避難訓練
5	11日(水)	内科健診
	24日(火)	避難訓練
6	8日(水)	歯科検診
	21日(火)	避難訓練

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

4	5日(火)	入園式
	6日(水)	始業式
	20日(水)	誕生会(年長)
	21日(木)	避難訓練
	22日(金)	誕生会(年中)
	27日(水)	入園進級写真撮影
	28日(木)	誕生会(年少)
5	19日(木)	誕生会(年長)
	20日(金)	避難訓練
	24日(火)	誕生会(年中)
	27日(金)	誕生会(年少)
6	21日(火)	避難訓練
	22日(水)	誕生会(年長)
	24日(金)	誕生会(年中)
	28日(火)	誕生会(年少)

星稜サ・エ・ラに関する
アンケートへのご協力をお願い

締切 5/31

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方の中から、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼント。下記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1

TEL 076-253-3924 (代表)

(大学) <http://www.seiryu-u.ac.jp/u/>(短大部) <http://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地

TEL 076-252-2237 (代表)

<http://www.seiryu-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地

TEL 076-252-5057 (代表)

<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号

TEL 076-244-5636 (代表)

<http://kinder.seiryu.jp/izumino/>

(星稜サ・エ・ラ) サ・エ・ラ(çà et là)とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てるという意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。